あなたの夏休みを

「熱く」するために。



京都外国語大学・京都外国語短期大学

夏休み充実大作戦

主催：英米 PSC，国際教養 PSC　共催：各学科 PSC，短大 PSC

日時：6 月 8 日（水）～6 月 17 日（金）の間の月水金、昼休み（12:30～13:10）

会場：1 号館 4 階　142 教室

内容：夏休みに国際関係イベント、インターンシップ、ボランティアに参加、あるいは自ら一人旅を決行し成長し、充実した夏休みを過ごした学生らによる講演シリーズ。あなたの夏休み計画の参考にしてみては…？

夏休み充実大作戦

講演スケジュール

※以下の講演はすべて、昼休み（12:30～13:10）に 142 教室にて行われます。

６月８日（水）【日本で国際問題を考える】



小野祐貴（国際教養学科２年）

「模擬国連で熱く討論した夏」

昨年の夏休み、国際教養学科のメンバー自分を含め８名と一緒に、神戸で開催された模擬国連関西大会に参加しました。私は、UNHCR（国連難民高等弁務官）大使として参加し、「アフガン情勢」について他大学の学生と議論しました。会議までにはリサーチと事前交渉、決議案作成、文書作成などの準備に追われ大変な毎日でしたが、有意義な夏休みを過ごすことができました。



清水麻由（国際教養学科２年）

「UNESCO を考えた京都の夏一週間」

去年の夏に行われた UNESCO WEEK に実行委員として参加しました。UNESCO について様々なことを知れたとてもいい機会になりました。その実行委員のメンバーと去年の夏、町屋風の宿泊施設に泊まり、京都にある世界遺産を巡りました。他学科、他学年の学生、留学生と UNESCO を通して様々な意見を交換し、交流ができた夏になりました。

６月 10 日（金）【インターンシップ】



植田真由（英米語学科２年）・高橋奈々（英米語学科２年）

「『知性、品性、感性』を磨いたキャビンアテンダント研修」

オーストラリアにて、ブリスベン空港に隣接した訓練施設でのキャビンアテンダント（CA）研修に参加しました。実際の CA の訓練所に入り、CA になるために自分に何が欠けているのか見つける良い機会となりました。そして、なにより、その後の私たちの目標は以前より明確になっています。夏休みにはフィリピン航空の研修があります。CA を目指す方は是非参加してください。私たちが背中を押します。



西本みずき（英米語学科３年）

「ディズニーワールド・インターンシップ獲得への道」

アメリカ（フロリダ州）のディズニーワールドで１年間インターンシップを行うプログラムに合格しました。高い競争率への挑戦で、書類や面接を通過するために自分には何が必要か見つめ直し、テーマパークでのアルバイト、英語学習など準備を進めました。夏休みはしっかり準備のできるチャンスですが、生活のリズムが狂いがちで、曜日感覚を失います。インターンシップ獲得までの道と、そのために心がけた夏休みの過ごし方を紹介します。

６月１３日（月）【国内・海外ボランティア】



市川なつき（英米語学科３年）

「東北で被災者と共に暑い夏を」

ゴールデンウィークの７日間、東北の被災地へボランティアに行ってきました。そこで見た光景はテレビニュースで見るより衝撃的なもの。「夏休みは東北へ戻る」と決心しました。あなたもこの夏、時間とエネルギーを差し出してみませんか。



松本侑香里（ブラジル・ポルトガル語学科３年）

「海外で家を建てるボランティア　ーハビタットー」

毎年夏休みの 10 日間、アジアへ家を建てに行く活動をしています。これは「誰もがきちんとした場所で暮らせる世界」を目標に設立された世界規模のボランティア団体〝Habitat for Humanity〟傘下の Kyoto Gaidai Habitat の活動です。昨年の夏はインドネシア、春はインド、そして今年の夏も派遣を予定しています。

６月１５日（水）【海外ステイ】



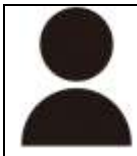
星川朗氏（CIEE 国際交換協議会西日本オフィス※）

「特別企画：今からでも間に合う！様々な夏休みの海外生活を提案」

学生生活の長い夏休みを利用して短期間から参加出来る海外生活をしてみませんか？海外ボランティアは、現地の生活体験やボランティア活動を通じて語学力が養える一種の留学です。オーストラリアでの環境保護、ニュージーランドでの幼稚園ボランティア、アメリカでの現地授業アシスタントなど種類や行き先も豊富です。あなたも参加してみませんか？

※TOEFL の日本事務局です。

６月１７日（金）【国内・海外一人旅】



松井拓真（英米語学科３年）

「ロードバイクで四国一周」

10 代最後の夏休み、僕は自転車にまたがり旅に出る。勉強、部活、アルバイト、恋愛。すべてにおいて行き詰った僕は、その解決策のヒントを四国に求めた。野犬に追われ、人の優しさにふれ、尻から血を流しながら、四国に点在する 88 か所の寺を巡る一人旅。13 日後、1500 キロの旅路の果てに僕が見たものとは。



竹下智晃（国際教養学科２年）

「ヨーロッパひとり旅」

ヨーロッパのイギリス、イタリア、スペイン、フランスにバックパックを担いで一人旅に出ました。きっかけは小学校の頃からの夢である海外に憧れ、目的は自分の世界観を広げることでした。旅先での出来事は毎日が刺激的で、何より帰国してから自分ですべき目標が見つかったように思います。私の旅は春休みでしたが、夏のほうが旅に出るには良い時期です。僕は初めての海外が今回のバックパックでした。こんな僕でも行けたので、海外に興味がある人は臆せず、ぜひバックパックをしてもらいたいです。



※ PSC（ピア・サポート・コミュニティ） とは

学年や学科を越えて、学生同士がサポートし合い、お互いを高めようとする学生主体の団体です。

問合せ：英米 PSC(服部)　09ua0341@kufs.ac.jp（２号館２階 R236）